

2025 年度 第 4 回理事会 議事録 2025.7.25

日時：2025 年 7 月 25 日（金）19：00～21：05

開催方式：対面開催

場所：神奈川県横浜市中区真砂町 3-33 商業ビル「セルテ」8 階 801 会議室

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）望月強併（事務局長）、玖島弘規、澤口勇、神田崇央、佐藤範明、村仲隼一郎、石川恵美子、佐藤隼、青木啓一郎

出席監事：錠内広之

欠席理事：佐々木秀一、野本義則、佐伯まどか、山勢健太郎、神保洋平

欠席監事：野々垣睦美

I. 会長より挨拶

日本作業療法士協会初代会長の鈴木明子先生が昨日ご逝去された旨の報告がありました。大変残念なことであり、今までの功績は大変大きなものです。心よりお悔やみ申し上げます。

II. トピックス

1. よんばち報告（神保会長）

参議院選挙の直前であり、田中まさし氏が出席され会の冒頭で話があった。また協会員＝士会員についての話もあり、結論から言うと三士会の同意が得られず、当初のスケジュール、内容で進めるのは困難な状況になった。その三士会は公益法人であり、各弁護士の見解も踏まえ上記のような結論となった。協会員＝士会員の実現は先延ばしになり、当面の間は県士会内で財務や会員管理を行う必要がある。

療養・就労両立支援指導料についても話題に挙がり、次回の診療報酬改定において作業療法士の職名明記を要望していく。まずは多くの作業療法士に研修会に参加して頂きたい。

2. 神奈川県健康医療局 医療整備・人材課 県民ニーズアンケートについて（神保会長）

神奈川県から県民ニーズアンケートについて連絡を頂いた。神奈川県では県民ニーズを把握するためアンケート調査を実施している。作業療法士が参画または取り組めることを県士会として取りまとめ提案していく。まずはどのようなことができるのかを各理事の皆から収集していく。

<質問>

澤口理事：予算についてはどのように考えたら良いか。

<回答>

神保会長：今のところ予算は考えず、アイデアを出していくところから始めたい。

3. 地域医療介護総合確保促進法に基づく意見募集について（遠藤副会長）

例年、意見募集がされているため当会としても意見提案をしていく。今年度は募集が終了しているため、次年度以降、提案していく。

III. 審議事項

1. 部員承認について

→賛成多数で承認

2. 持続可能な査読体制の構築に向けた県外査読者への委嘱について（奥原副会長）

投稿件数が増加傾向にあり、現在の査読者だけでは対応できない状況になってきている。そこで一定の条件を設けた中で県外査読者に委嘱することを承認頂きたい。

<意見>

神田理事：条件について内規で規定してはどうか。

青木理事：条件の確認は誰が担うのか。

<回答>

県内査読者及び県外査読者に分けて条件を設け、内規で規定していく。

条件の確認方法や申請の流れについては再度検討する。

3. 査読体制変更に伴う規約変更について（神田理事）

<意見>

県外者を神奈川県士会の部員にする上で現状の規程を変更する必要がある。一方で県外者を部員にすることで公平性が担保できない可能性がある。構成員としての立ち位置の検討が必要。

→規約の変更については保留。県外査読者については部員ではなく、講師扱いとして対応できるか検討。

今一度、扱いについて再度検討する。

4. 神奈川県病院学会名義使用について（事務局）

→賛成多数で承認

5. 第11回日本栄養・嚥下理学療法学会学術大会の後援依頼について（事務局）

→公文書を確認次第、メール審議を行う。

IV. 理事会報告事項（各部署・理事・三役）

1. 選挙WG開催報告について（田中副会長）

2024年度役員選挙の振り返り及び2025年度代議員選挙に向けた規程、マニュアルの見直しを行なっている。

9月の理事会において規程、マニュアルの提案ができるよう進めていく。

2. ウェブ個人情報取り扱いについて（遠藤副会長）

ホームページ上に部員の氏名及び所属先が掲載されている状況。昨今の時流を鑑みると掲載は望ましくないのではないかと考える。理事や代議員の掲載は必要であるが、他の部員については基本的には掲載しないようにしたい。掲載する場合は本人の同意を得てから掲載する。

3. 会員管理システムについて（事務局）

理事からの意見をもとに事務局内で検討していく。9月の理事会で提案できるよう進めていく。また会員のメールアドレスの聴取については近日中から開始できるよう準備する。

4. 理事情報共有システムについて（事務局）

現在、メーリングリストで情報共有を行なっているが、情報共有の効率化を図るためSlackを活用していく。メーリングリストは残しつつ、基本的にはSlackで情報共有を行う。協会からの情報についてはSlackで共有する。

5. 事務局員採用について（事務局）

1名採用が決定し、7月末から勤務予定。

6. 新入会員オリエンテーション開催の報告について（澤口理事）

研修会に参加してくれた会員がオリエンテーションにも参加してくれた。とても和やかな雰囲気で開催できた。

7. 県学会県士会ブースについて（澤口理事）

8. 県学会・臨床作業療法大会進捗報告について（青木理事）

①第 20 回神奈川県作業療学会進捗状況

予算案について報告があり、事業費の範囲内で遂行できる予算案となっている。一般演題抄録は 7 月頃ホームページに掲載予定である。講演を録画しオンデマンドで配信予定となっている。機器展示は現在 4 社確定、最大 6 社を予定し、企業広告も募集開始予定であり、助成金は 3 団体すべて不採択となった。カフェコーナーは会場近くの作業所に打診中。

②第 7 回神奈川県臨床作業療法大会進捗状況

会場が神奈川県立保健福祉大で仮予約まで済んでいる状況。
現在は委員会のメンバー補充と内容の検討を進めている。
県学会に小砂大会長は参加予定で、大会長に閉会式の際にコメントを依頼済み。
開催日は 12 月 13 日もしくは 12 月 20 日。

9. 対外広報報告について

①川崎市麻生区認知症当事者と家族の会について（佐藤隼理事）

渉外報告を供覧し共有。内容は講演会と座談会で構成されており、座談会ではご家族の思いが表出、共感されて継続的な参加意向が開かれる機会であった。

②小中高生向け活動について（佐藤範明理事）

8 月 1 日～9 月 25 日まで希望者にオンラインによる施設見学会を実施予定。

10. 臨床実習指導者講習会協議会報告について（村仲理事）

課題として OTPT の臨床実習指導者講習会の参加条件として、ここ数年は多職種の参加を認めていなかった。近年では一部定員割れも発生する状況となっているため参加形態を検討する。

結論として、令和 8 年度より臨床実習指導者講習会の参加募集において、10% の他職種の参加を認めていく。

11. OT 協会地域社会振興部 2025 年第 1 回地域事業支援会議報告について（石川理事）

日本作業療法士協会の事業報告（士会マネジメント、介護予防/日常生活支援総合事業、短期集中予防サービス事例集などの発刊に関する案内）、協会地域社会振興部の副会長による協会における地域人材育成に關しての説明（卒業教育に“地域で活躍できる作業療法士”という点で後期研修に組み込んでいくことを教育部と協議中）、地域支援事業参画のための士会マネジメント事業に關する説明と、市町村担当者配置事業からの 2025 年 3 月の報告として全国で 71.9% という配置率となったという報告がされた。会議後半には出席者 172 名をグループに分け、それぞれの都道府県別の現状・課題や、協会への要望などの話し合いがなされた。

12. 制度対策部 生活環境支援推進室の事業一時停止について（佐藤範明理事）

日本作業療法士協会生活環境支援推進室の事業が一時的に停止していた。現在は「福祉用具相談支援システム」、「生活行為工夫情報事業」、については再稼働となっている。また情報があればホームページに掲載していく。

【その他報告部署・理事】

1. 第 21 回神奈川県作業療学会学会長推薦について（神保会長）

木下 剛氏（湘陽かしわ台病院）に打診し内諾を得た。
→賛成多数で承認

2. 令和 7 年度第 1 回神奈川県在宅医療推進協議リハビリテーション部会報告について（田中副会長）

渉外報告書で共有。

3. 早稲田議員との会談について（神保会長）

超党派で高次脳機能障害支援関連の法案に携わっている衆議院議員。選挙区は神奈川県内（鎌倉、藤沢方面）。当会の活動や高次脳機能障害者への取り組みについて会談したいとの話があったが、先方の都合でキャンセルと

なった。今後対話する機会があれば対応していきたい。

V. 監事より

会としては、時間通りに進行できていて良かった。しかし各事業の進捗状況については不透明な部分もあったため、事業内容が共有できる場にしていてもらいたい。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	奥原 孝幸	印
	理事：	神田 崇央	印
	理事：	佐藤 範明	印
	監事：	錠内 広之	印